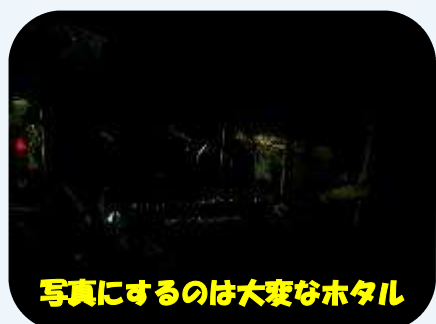


6月12日(金) 小垣江公園ホタル観賞会

6月12日にホタル観賞会が小垣江公園で行われました。これに先立つ5月1日にはホタル再生会の方がホタルの幼虫を放流しました。その後、ホタルは順調に成長し、6月に入るとホタル小屋近くの水路でヘイケボタルの小さな光が見られるようになりました。今回のホタル観賞会には多くの親子と地域の皆さんが訪れ、列をなしてホタル小屋に入り、葉に留まり光る雌ホタルと、その上を飛ぶ雄ホタルの光を楽しみました。

**開会式****明るいうちから大盛況****これがホタル小屋です****ホタル小屋前の行列****そろそろ始まるよ****写真にするのは大変なホタル****6月14日(日) 第43回刈谷市消防操法競技会**

梅雨の中休みの中、刈谷市消防操法競技会が行われました。消防団員の消防技術向上及び士気の高揚を図ることを目的とし、毎年実施されています。競技は市内21分団が参加し、小垣江地区からは10(本郷), 11(新田), 12(犬ヶ坪)分団が参加しました。

消防団員は地域防災の担い手として、普段は自分の仕事をする傍ら、火災や災害があれば現場に駆けつけ消火活動等に従事する責務を負っています。地域との密着性が高く、「自分たちの街は自分たちで守る」を合言葉にポンプ車操法を代表する様々な訓練や講習を重ねています。

競技会では、各分団が優勝を目指し、日頃の練習の成果を見せてくれました。その中で11分団(新田)が、見事、準優勝を勝ち取りました。



6月21日(日) HUG/防災勉強会

災害時に避難所へ被災者の受け入れをどうするか、また災害に対して事前にそのような準備ができるか、などを参加者が一緒に考えながら、小垣江小学校体育館で防災に関して学びました。

刈谷防災ボランティアの方の主導により、避難所運営ゲーム(HUG)を実施しました。女性部・地区委員・青年団・消防団の他、民生委員、組長、屋敷総代、パト隊、応援隊、地域の学校の先生方、今年度は依佐美中学校の生徒にも参加いただき、8班に分かれて小垣江小学校での避難誘導を検討しました。その後、事前受付、医療チームエリア、マンホールトイレ、防災倉庫の見学と、説明を受けました。改めて防災に対する日頃の備えが重要であることを再認識する一日となりました。



講習会風景



グループワーク



防災倉庫説明

小垣江防災通信 第2回 在宅避難のすすめ

各地で災害が起こるたびに報道される“指定避難所”。「ここに行けば、安心安全だ」と思っていないですか？ 南海トラフ地震が起きた際、刈谷市は6人に1人が避難所に行く想定して、水や食料を備蓄しています。小垣江町・荒井町では **2400人**が倒壊・浸水・焼失等で自宅に住めなくなることを想定しているのです。

刈谷市の想定避難者数

人口 15.3万人
避難者 **2.4万人**



避難所 在宅避難

- 避難所に身を寄せるのは、**6人に1人**
(倒壊・浸水・焼失で自宅に住めなくなった人の“生活の場”)
- 6人に5人は、在宅避難が必要**

小垣江町・荒井町

人口 1.5万人
避難者 **2400人?**



避難所に行かなくて済むような、備えが重要!

「刈谷市は、(2.4万人の)被災者に対し、3日分の水・食料を備蓄している」

避難所	児童・生徒数	避難者数
小垣江小	600	800?
東小	236	800?
依中	709	800?

- 避難所は過酷な環境
- 開設・運営は当事者が行う



子ぶらで避難所に来ても、直ぐに食事にあつづける訳ではない

しかし、左の試算からも分かるように、避難所は過酷な環境になります。

そこで、まずは”自助”。

自宅の耐震化、家具の転倒防止、食料・水・携帯トイレなどの家庭内備蓄を行って、在宅避難できるように備えましょう。

自治会ホームページで防災情報を発信中



7月中旬
～8月中旬
の予定

- ・ 7月23/24/25日
- ・ 7月30/31日・8月1日
- ・ 8月13日(木)
- ・ 8月13/14日
- ・ 8月15日

- 小垣江小学校 盆踊り練習
- 小垣江東小学校 盆踊り練習
- 物故者追弔会
- 小垣江小学校盆踊り大会
- 小垣江東小学校盆踊り大会
- ・ ・ 青年団、女性部、地区
- ・ ・ 青年団、女性部、地区
- ・ ・ ・ ・ ・ 8寺院・地区
- ・ ・ ・ ・ ・ 公民館主催
- ・ ・ ・ ・ ・ 青年団主催